

生駒市こども計画 こども版パブリックコメント 報告書

1:開催の経緯

生駒市では、令和7年4月を計画のはじまりとする「生駒市こども計画」を策定します。

「生駒市こども計画」は「すべてのこどもの権利が守られ、健やかに成長・自立できるよう、社会全体で総合的にこども、ならびに子育て家庭を支援する環境を整備すること」を目的として策定されるものです。

計画の策定にあたって、生駒市では、計画の案を公表し、市民の皆様の意見を求め、意見を受けて計画を見直す「パブリックコメント」を実施しますが、今回、通常実施するパブリックコメントとは別に、「こども版パブリックコメント」を実施しました。

なお、「こども版パブリックコメント」の実施にあたっては、生駒市こども計画について調査・審議を行う「生駒市子ども・子育て会議」の場で、「大人が一方向的に考えてお願いするアンケートではなく、アンケートの作成段階からこどもに関わってもってはどうか」という意見がありました。本市としても、意見を踏まえ、「こども版パブリックコメントプロジェクトチーム(以下 PT)」を立ち上げることとしました。

2:こども版パブリックコメントの概要

「こども版パブリックコメント」では、計画のうち、特にこどもに関わりの深い内容について、①(1)こどもと市職員がいっしょにアンケートの設問をつくる①(2)アンケートへの協力を呼びかける動画をつくる、②アンケートを実施する、③アンケート結果を踏まえ対面で意見を聴くという流れで実施しました。

(こども版パブリックコメントでこどもに意見を聴いた内容)

「遊び・体験活動の充実」「こどもの居場所づくり」「こどもの心のケア」「意見表明」

① アンケートの設問・アンケートへの協力を呼びかける動画の作成(PT1回目)	
対象	市内の公立小中学校に通う小学校4年生～中学校3年生
開催日時・場所	令和6年12月26日(木)、12月27日(金)(生駒セイセイビル3階) (1)アンケートの設問作成: 9:30～11:30(両日とも) (2)動画の作成: 13:30～16:00(両日とも)
参加者数	(1)アンケートの設問作成: のべ10名(26日:6名、27日:4名) (2)動画の作成: のべ8名(26日:4名、27日:4名)
② アンケートの実施	
期間	令和7年1月10日(金)～1月22日(水)
対象	(1)市内の公立小学校に通う小学校4～6年生全員 3,330名 (2)市内の公立小学校に通う中学校1～3年生全員 2,970名 ※人数は令和6年度5月1日時点
方法	タブレット端末を使い、各学校でWEB調査の形式で実施
回答数 (回答率)	(1)小学校4～6年生 1,678件(回答率:50.4%) (2)中学校1～3年生 1,661件(回答率:55.9%) ※学年不詳:5件

③ アンケート結果を踏まえた対面での意見聴取(PT2回目)	
対象	市内の公立小中学校に通う小学校4年生～中学校3年生(①の参加者)
開催日時・場所	令和 7 年 1 月 25 日(土)13:00～15:00(生駒セイセイビル3階)
参加者数	5名

※「②アンケートの実施」の回答集計等について

回答の集計にあたっては、例えば、「友だち と ボール遊び が できる 広い 公園 (が欲しい)」のように、ひとつの回答に複数の要素が含まれるケースが多く見られたことから、テキストマイニングというシステムを活用し、回答から特に多い単語を抽出し、集計を行いました。ただし、同じ意味であるが別の表記(「あそぶ」、「遊ぶ」など)や集計上同じとしたもの(「スポーツ」と「運動」など)については、職員が再度回答データから関連するキーワード毎に検索を行い、一件ずつチェックマークをつける作業を行い、さらに確認作業をした上で、一つのグループとして集計しています。

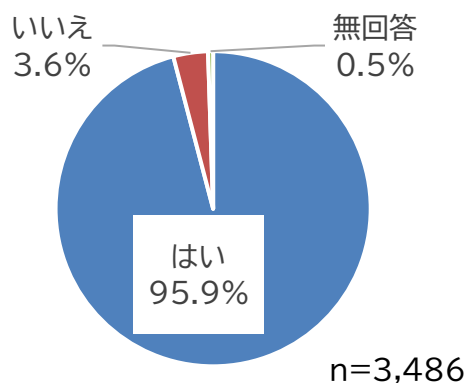
なお、各グラフには、設問に対する回答数(n)を記載しておりますが、回答が「空白(入力がないもの)」以外を回答数(n)として集計しています。

さらに、いただいた全ての回答は、職員が一つひとつ読ませていただきました。その上で「③アンケート結果を踏まえた対面での意見聴取」において、こどもから意見をもらい、本報告書としてまとめています。

3:こども版パブリックコメントの結果(まとめ)r

○「②アンケートの実施」の結果

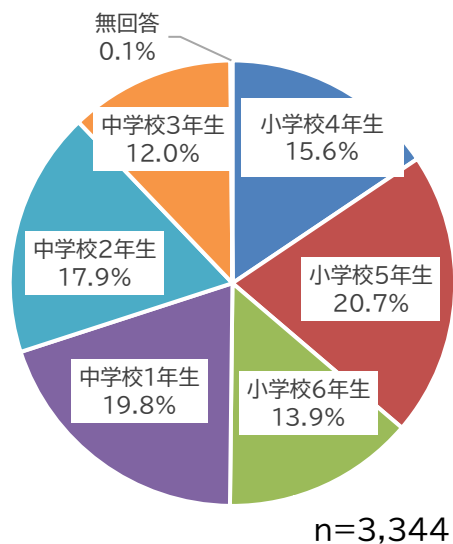
・このアンケートに答えていただけますか



回答	件数
はい	3,344 件
いいえ	124 件
無回答	18 件

※無回答は以降の質問にもすべて無回答

・あなたの学年を教えてください



学年	件数
合計	3,344 件
小計(小学生)	1,678 件
小計(中学生)	1,661 件
小学校 4 年生	521 件
小学校 5 年生	691 件
小学校 6 年生	466 件
中学校 1 年生	663 件
中学校 2 年生	597 件
中学校 3 年生	401 件
無回答	5 件

質問①

質問①では、「施策 4:遊び・体験活動の充実」「施策 5:こどもの居場所づくり」に関連し、「ほしい場所」「どのように過ごしたいか」を質問しました。

家や学校、習いごとなどのほかに、自由に過ごせる場所をつくりたいと考えています

・どのような場所がほしいですか

・どのように過ごしたいですか

<「②アンケートの実施」結果の概要>

ほしい場所・過ごしかたともに、共通するキーワードが多く、「自由に遊べる・過ごせる」「スポーツができる」「広い公園」「みんなで」「楽しく」といった回答があった一方で、「ひとりになれる」「静かに過ごせる」といった回答もあり、こどものニーズが多様であることが分かりました。

その他には、「平和」「差別がない」「不平等でない」など、人間関係の中で生じる問題に関連する回答がありました。

<「③アンケート結果を踏まえた対面での意見聴取」結果の概要>

「みんなでスポーツをするときは広いほうがいい」という意見がある一方で、「遊具をなくしてひろばにすれば広くなるけれど、小さい子向けのスペースとして必要だと思う」という意見がありました。

アンケートでは、何もしなくていい場所・落ち着ける場所がほしいといった回答があったことから、意見を聴いたところ、「家だと、家族から勉強しないのか聞かれる」「自分の部屋がないとひとりになれるスペースがないので、なにもなくていい場所がほしいのでは」という意見がありました。

アンケートでの、差別・不平等がないといった回答については、「学校だけでなく家の中でも、きょうだいがいたりすると感じることもあるだろう」という意見がありました。

また、今回のPTのような機会をどう感じるかを聞いたところ、「他の学校の子に出会える」「人数がそれほど多くなくて話しやすい」「大人がテーマを設定してくれるので話しやすい」などの理由から、「楽しかった」という感想で、こどもの居場所のあり方につながる意見がありました。

★得られた知見★

◇施策 4:遊び・体験活動の充実

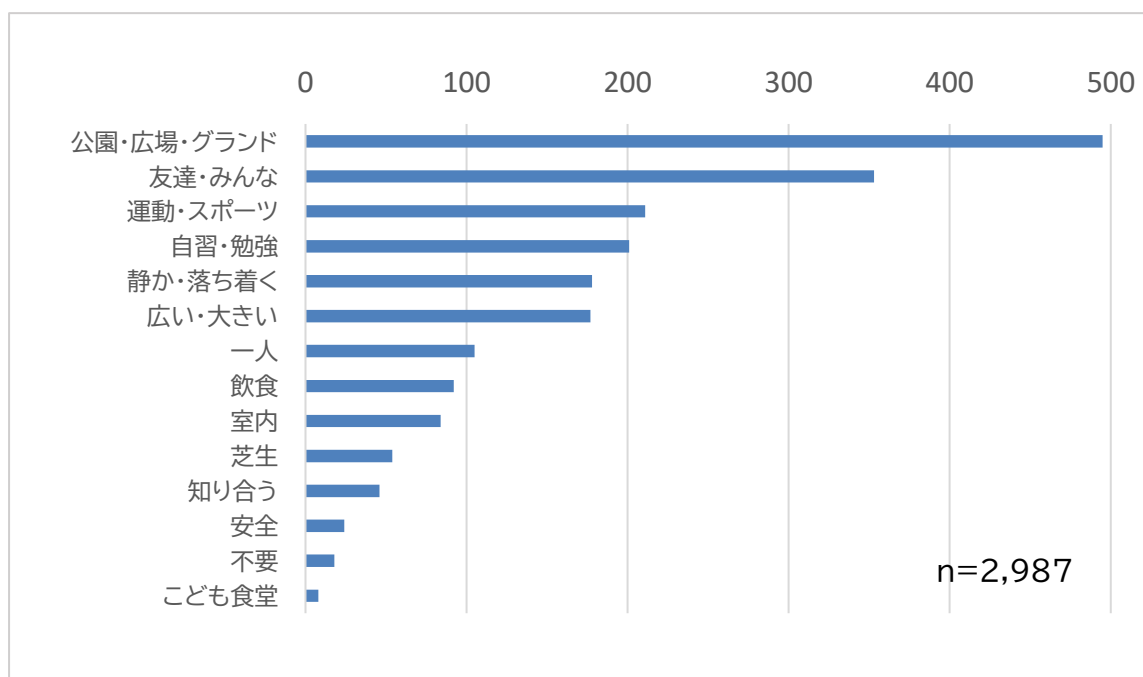
- ・近くに、思いきりスポーツができる場所が少ないと感じているこどもがいる。
- ・他校の児童・生徒との出会いの機会など、日頃とは異なる人間関係を築くことができる機会を「楽しい」と感じる。
- ・地域の活動に参加してみたいと感じているこどもがいる。

◇施策 5:こどもの居場所づくり

- ・こどものニーズは多様である。また、おなじ人であっても、ひとりになりたいと思うときもあるし、みんなで過ごしたいと思うときもある。
- ・ひとりになれる場所がないと感じているこどもがいる。
- ・「何かができる場所」とともに、「何もしなくていい場所」が求められている。

<質問①の資料>

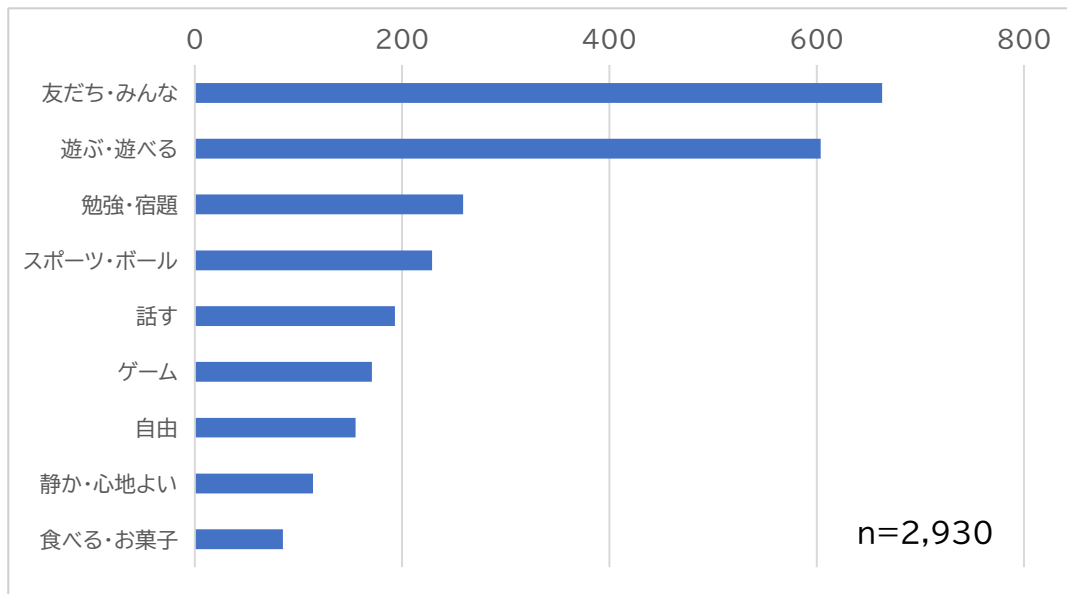
○「どのような場所がほしいですか」の質問で多かったキーワード



(代表的なキーワードと回答件数)

回答内容	全体	中学生	小学生	不明
合計	2,046	927	1,115	4
公園・広場・グラウンド	495	186	307	2
友達・みんな	353	136	217	0
運動・スポーツ	211	117	94	0
自習・勉強	201	138	63	0
静か・落ち着く	178	90	88	0
広い・大きい	177	59	117	1
一人	105	50	54	1
飲食	92	50	42	0
室内	84	29	55	0
芝生	54	23	31	0
知り合う	46	26	20	0
安全	24	6	18	0
不要	18	14	4	0
こども食堂	8	3	5	0

○「どのように過ごしたいですか」の質問で多かったキーワード



(代表的なキーワードと回答件数)

回答内容	全体	中学生	小学生	不明
合計	2,473	1,182	1,287	4
友だち・みんな	663	301	362	0
遊ぶ・遊べる	604	218	385	1
勉強・宿題	259	171	88	0
スポーツ・ボール	229	118	109	2
話す	193	130	63	0
ゲーム	171	63	108	0
自由	155	75	79	1
静か・心地よい	114	66	48	0
食べる・お菓子	85	40	45	0

○質問①に対する PT での主な意見

<ほしい場所・やりたいこと>

- ・(就学後の児童・生徒でも)遊べる屋内施設がほしい。
- ・チロル堂のような場所を増やしてほしい。
- ・公園は広いほうがいい。
- ・遊具をなくしてほしいという意見もあるが、小さい子向けのスペースとしては要ると思う。
- ・遊具があって奥にグラウンドがある公園に行ったことがあるが、そういうところがほしい。
- ・友達と行ったらしゃべったりできるから行ってみたい。
- ・大人がいる場だと、話題を振ってくれるから話しやすい。

<ひとりでいたいことがある>

- ・悩んでいるとき、親と喧嘩したとき。
- ・ひとりになれる場所がない。(自分の部屋がない。)
- ・静かに過ごしたいときでも、行ったらしゃべりかけられるイメージがあり、行きづらい。

<落ち着きたい>

- ・なにもなくていい場所がほしい。
- ・家にいると色々と言われる。
- ・家以外のほうがリラックスできる。
- ・平日は習い事の前で宿題をしており忙しさを感じる。

<楽しかった活動など>

- ・稲の苗を植えて、その育った米を使って餅つきをして、みんなで食べたのが楽しかった。
- ・昔遊びは楽しかった。ネット・ゲーム以外の遊びを知れるので、知らない遊び(お手玉、めんこなど)を教えてもらえるのが良い。

<今回のプロジェクトチームについて>

- ・他校の子がいるので楽しい。
- ・知っている子がいないからいい。
- ・親近感がある。
- ・他の学校はそうなんだ、と知れるからいい。
- ・大人がしっかり話題をくれるのはうれしい。
- ・動画の撮影では爆笑した。

質問②

質問②では、「施策 5:こどもの居場所づくり」の重要な要素である、「地域の大人」との関わりについて質問しました。

学校以外で、みなさんと地域の大人とのかかわりを増やしていきたいと考えています。

- ・地域の大人とかかわりがありますか
- ・どんなときに楽しかった(うれしかった)ですか
- ・地域の大人とやってみたいことがあれば教えてください

<「②アンケートの実施」結果の概要>

「地域の大人とかかわりがある」と答えたこどもは、およそ半分でした。

その関わりのなかで、「楽しかった(うれしかった)」ことで最も多かった回答は「挨拶(おはよう、いつてらっしゃい、おかえりなど)」でした。また、そのほかには、「いつもえらいね」といった言葉かけがうれしかったという回答がありました。

「地域の大人とやってみたいこと」は、スポーツや趣味に関する回答が多くありました。また、「イベント」「お祭り」といった回答もありました。一方、「特にない」といった回答が最も多く、「地域の大人とかかわりがある」こどもであっても、挨拶以上の関わりをイメージしづらいこどもも多いのではないかと推察されます。

<「③アンケート結果を踏まえた対面での意見聴取」結果の概要>

地域の大人と「挨拶」をしたことがある、という意見が多かったです。

また、「ほめてくれてうれしかった」「散歩中の犬を触らせてもらったのがうれしかった」「高齢者は話を聞いてくれるため話しやすい」など、地域の大人と様々な関わりを持っていることが分かりました。一方で、「挨拶しても返事をしてくれないと悲しいし、次から挨拶しづらくなる」という意見があり、大人の関わりがその後のこどもの行動に影響を及ぼしていることがわかりました。

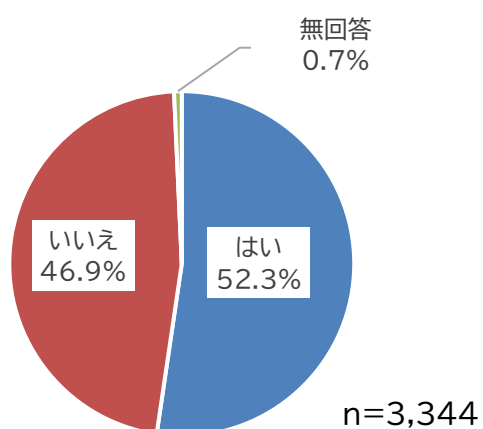
地域でやってみたいこととして、「昔遊びは、インターネットやゲームと違うため楽しかった」「お祭りには参加したことがあって、手伝いもしてみたい・手伝ったのが楽しかった」という意見がありました。

★得られた知見

- ・「挨拶」はこどもとしても対応しやすく、地域の人間関係をつくるうえではいい手段である。
- ・こどもの状況を見たうえで、「挨拶」から人間関係を構築し、「ほめる」などの行動につなげるなど、大人がコミュニケーションを深めていけると、こどもは「うれしさ」を感じる。
- ・こどもが挨拶をしても大人が返事をしないと、こどもが悪い印象抱く。
- ・日頃と違う活動(昔遊びやお祭り)は地域でしかできないことであり好評。

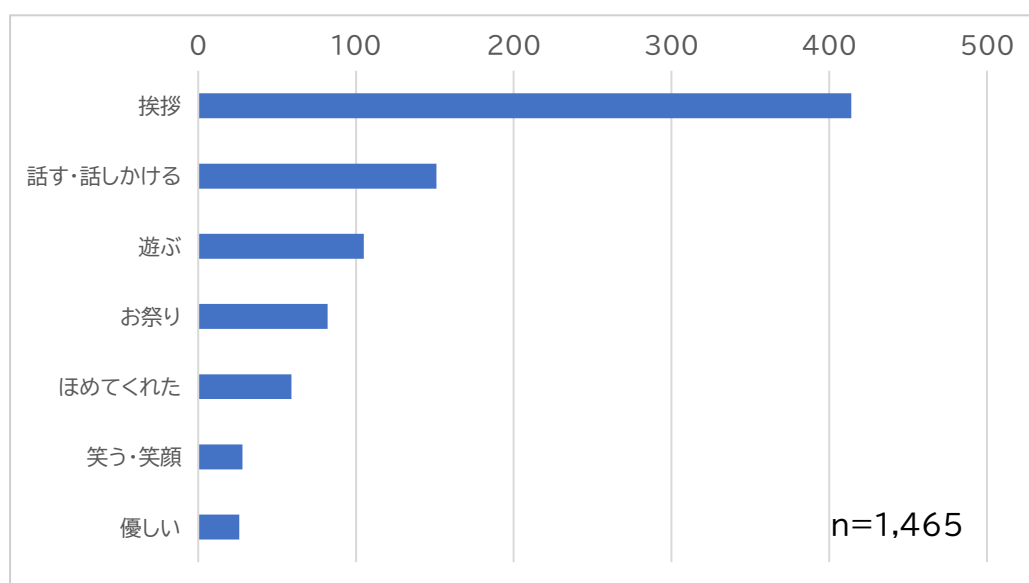
<質問②の資料>

○「地域の大人とかかわりがありますか」の質問への回答



	合計	はい	いいえ	無回答
全体	3,344	1,750	1,570	24
中学生	1,661	740	913	8
小学生	1,678	1,008	654	16
不明	5	2	3	0

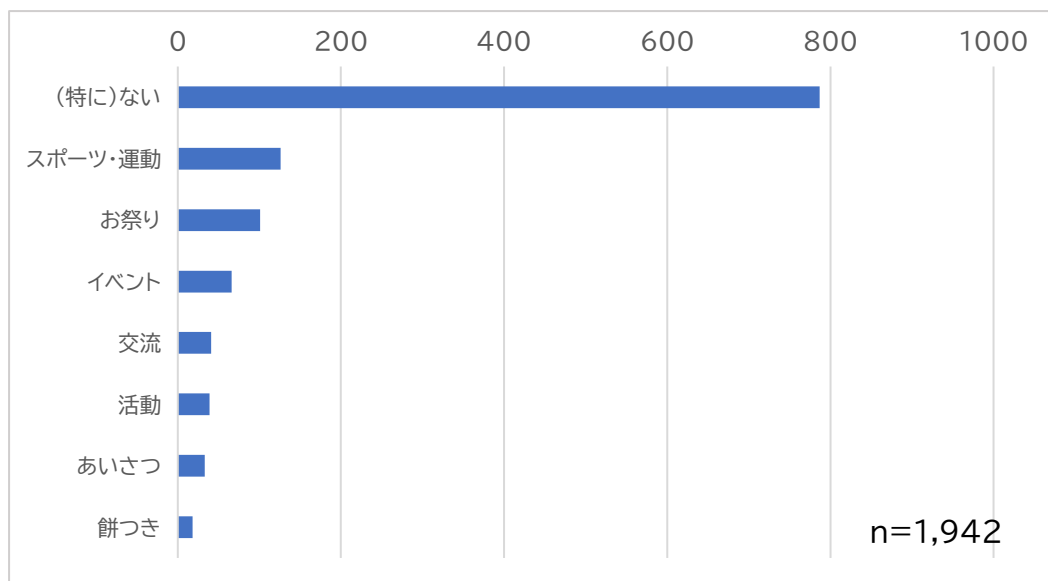
○「どんなときに楽しかった(うれしかった)ですか」の質問で多かったキーワード



(代表的なキーワードと回答件数)

回答内容	全体	中学生	小学生	不明
合計	865	413	452	0
挨拶	414	210	204	0
話す・話しかける	151	76	75	0
遊ぶ	105	30	75	0
お祭り	82	57	25	0
ほめてくれた	59	23	36	0
笑う・笑顔	28	10	18	0
優しい	26	7	19	0

○「地域の大人とやってみたいことがあれば教えてください」の質問で多かったキーワード



(代表的なキーワードと回答件数)

回答内容	全体	中学生	小学生	不明
合計	1,211	670	540	1
(特に)ない	787	500	286	1
スポーツ・運動	126	42	84	0
お祭り	101	38	63	0
イベント	66	26	40	0
交流	41	18	23	0
活動	39	25	14	0
あいさつ	33	13	20	0
餅つき	18	8	10	0

○質問②に対する PT での主な意見

<地域の大人とのかかわりについて>

- ・高齢者には話しやすい。(若い人より聞き上手だから。)
- ・おかえりって言ってもらえると嬉しい。
- ・地域の人が犬の散歩をしているときに会えるのが楽しみになっている。
- ・友達と会話しているときに声を掛けられると、友達との会話を止めないといけない。
- ・一人でいたいときに話しかけられるのはイヤ。
- ・話しかけてもらいたい気分の時とそうでない時がある。
- ・大人の話が長くて話を終わらせたくても、「用事があるので」などと言にくい。
- ・挨拶しても無視されることがあるが、そのときはイヤな気分になる。
- ・「服装が似合っている」と言われて嬉しかった。
- ・「また(祭りに)来たんだね」と言われたとき、「覚えてくれてたんだ」と思うときもあるし、「また来たの?」と否定的な言葉に感じてしまうこともある。

<地域活動について>

- ・どんどこ祭りは出店の値段が年々あがっているが、地域のお祭りの出店は安くて行きやすい。
- ・地域の方が無料で食べものなどを振る舞ってくれることがあった。
- ・地域の祭りだと人が少ないから、やりたいことを実現しやすい。
- ・地域のお祭りでお手伝いしたことがあるが楽しかった。
- ・手伝う時間が長くてお祭りを楽しめなかった。その代わり、余った飲みものなどをもらったのはうれしかった。
- ・お祭りのお店のお手伝いなどは、一回やってみたい。
- ・行きたいところを全部まわれるなら、お手伝いするのも良い。
- ・みんなと仲良くなれたらうれしい。
- ・年下の子に教えるのは楽しい。
- ・ボランティアに参加できるのは高校生からが多い。中学生からにしてくれたらうれしい。

質問③

質問③では、「施策 6:こどもの心のケア」の重要な要素として、「相談」について質問しました。

相談窓口をみなさんにわかりやすく案内したり、親や学校の先生のほかにも、相談できる大人を増やしていきたいと考えています。

- ・どういう感じだったら、相談しやすいですか
- ・相談したくてもできなかったのは、どんなときですか
- ・相談について、ほかに何か思うことはありますか

<「②アンケートの実施」結果の概要>

「どういう感じなら相談しやすいですか」「相談したくてもできなかったのは、どんなときですか」の質問のどちらにも共通して多かったのは、相談相手に関する回答でした。「やさしい」「気軽に接することができる」と相談しやすいといった回答に対し、「表情(が怖い)」「忙しそうだと相談しにくいといった回答がありました。「秘密を守ってくれる」「匿名」だと相談しやすいといった回答に対し、「周りに人がいる」「おおごとになる(のが不安)」であるために相談できなかったという回答もありました。また、「怒られるかもしれないと感じて相談できなかった」、「変なことを言われぬ・否定されぬと相談しやすい」など、相談相手は「こどもの思いを受けとめる」姿勢が重要だと分りました。

<「③アンケート結果を踏まえた対面での意見聴取」結果の概要>

「先生に相談したり、周りにそれが知られることで人間関係に影響することが怖いのでは」「(場合によっては、)クラスの外に話が広まるなど、おおごとになることを避けたい気持ちもあるのでは」という意見がありました。その他、「性別や(仲の良い)グループによっては、人間関係が複雑なケースがあるのかもしれない」「異性同士で話すのは周りの目が気になる人もいるようだ」という意見がありました。

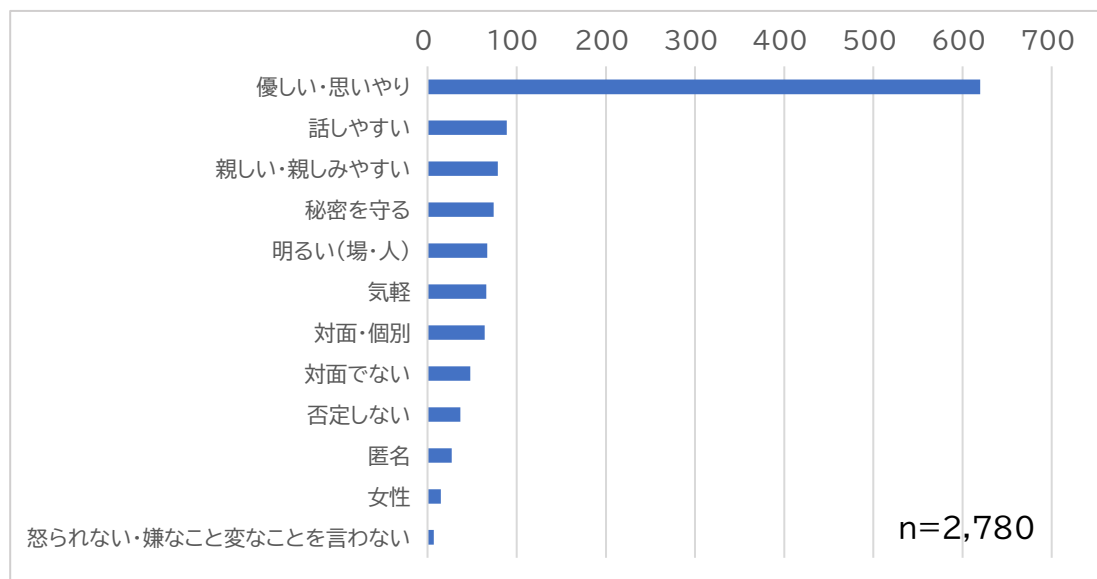
相談相手については、人間関係への影響に対する懸念から、「秘密を守る」ことが重要なため、「信頼できることが重要」という意見の一方で、「知らない人のほうが打ち明けやすい」という意見もありました。また、「悩みに共感してほしい」「意見を否定されたくない」という意見もありました。

★得られた知見

- ・こどもが安心して相談するためには、大人がこどもの人間関係に配慮し、確実に秘密が守られるようにする必要がある。
- ・相談を受けるときは、否定せず、こどもの気持ちや考えを受け止める必要がある。また、いつでも相談を受け付けるという姿勢を示すことが重要である。
- ・オンラインでの相談など、匿名性の高い相談ツールも重要である。
- ・匿名での相談先として、インターネットは気軽に使える。
- ・「学校から貸与されるタブレット端末はアクセス制限が強く使いにくい」「学校側にみられているのではないかと感じているこどもがいる。インターネット等を使用した相談等に活用するには、実際に監視しているわけではないことも伝え、この不安を払拭する必要がある。

<質問③の資料>

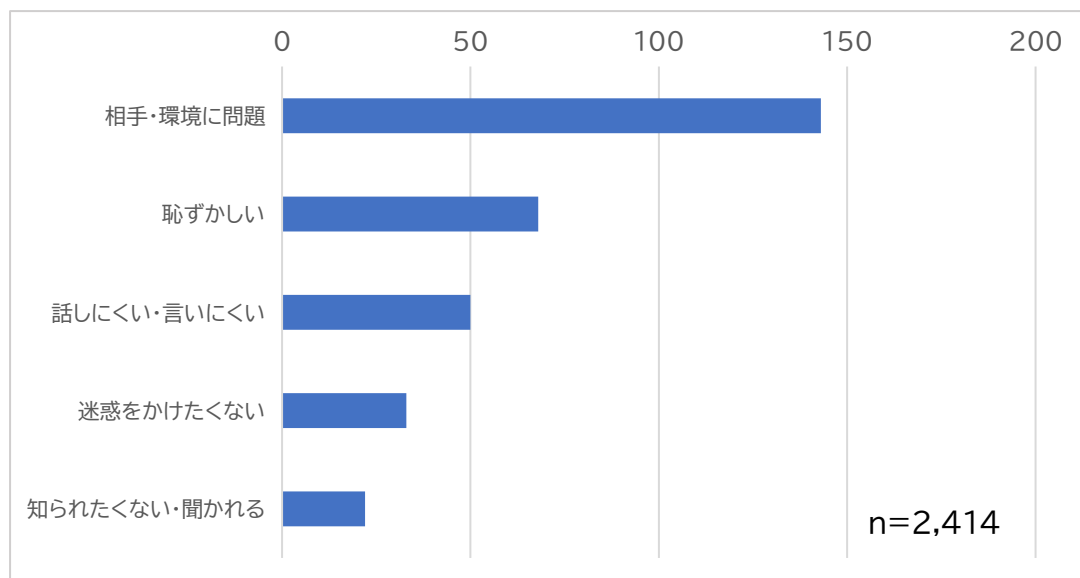
○「どういう感じだったら、相談しやすいですか」の質問で多かったキーワード



(代表的なキーワードと回答件数)

回答内容	全体	中学生	小学生	不明
合計	1,193	561	632	0
優しい・思いやり	620	231	389	0
話しやすい	89	47	42	0
親しい・親しみやすい	79	49	30	0
秘密を守る	74	36	38	0
明るい(場・人)	67	42	25	0
気軽	66	39	27	0
対面・個別	64	29	35	0
対面でない	48	33	15	0
否定しない	37	23	14	0
匿名	27	26	1	0
女性	15	5	10	0
怒られない・嫌なこと変なことを言わない	7	1	6	0

○「相談したくてもできなかったのは、どんなときですか」の質問で多かったキーワード



(代表的なキーワードと回答件数)

回答内容	全体	中学生	小学生	不明
合計	316	168	148	0
相手・環境に問題	143	72	71	0
恥ずかしい	68	34	34	0
話しにくい・言いにくい	50	34	16	0
迷惑をかけたくない	33	14	19	0
知られたくない・聞かれる	22	14	8	0

○「相談について、ほかに何か思うことはありますか」の質問に対する回答

この質問では、「ない」という回答が 1,671 件と多かったため、主な意見を掲載します。

【主な意見】

- ・「最近困っていることない？」と聞いてくれたら答えやすい。
- ・信頼できる人に話したい。
- ・女性で相談にのってくれる人をもっと増やしてほしい。
- ・自分と年齢が近い人のほうが話しやすい。
- ・優しく寄り添ってほしい。
- ・もっと、自分たちの意見も認めてほしい。(否定されたら相談しようと思わなくなる。)
- ・大人は自分が正しいと思わずに、子どもの意見も聞いたほうがいい。
- ・だめなところは怒ってほしい。
- ・学校の先生たち以外にももっといろいろな人がいたらいいと思う。
- ・先生たちが毎回「おとな」に相談しろと言っているのが気になる。「おとな」に相談できなくて困っている人もいると思う。
- ・親のことで悩んでいたら親には言えないし、さらに先生にも言えなかったらどうしたらいいんだろうと思った。
- ・手紙やポスターだけでなく、動画などを作ってもう少し相談のことを知る機会を増やすなどしてほしい。
- ・何でもかんでも「相談しよう」「相談しなさい」といわれるのは、強制的な感じがしてイヤ。
- ・相談することがなくても、学校などで、一人ずつ相談する時間をつくってほしい。(あらたまって相談に行くのは、周りの目が気になるため。)
- ・もっと気軽に周りの人を巻き込まずに相談したい。
- ・学校の端末で、悩みについて学校でアンケートをとればいいと思う。
- ・個人情報を載せなくて良ければ気軽に話しやすいと思う。
- ・相談という行為のイメージが変われば良いと思う。いまは、まだ耐えているほうが偉い、という雰囲気があると思う。
- ・これくらいで相談していいのか？と思うことがある。
- ・こども食堂のように、相談の場が身近な場所にあってほしい。
- ・自分のお母さん、お父さんにも相談できない人が、相談できるようになってほしいなと思います。
- ・「相談」する、というのがなかなかおおごとのように感じてしまって、そういったサービスを利用することをハードルが高いように感じてしまう。
- ・正直相談の電話をかける事自体勇気がいる。先生や親にも言いづらくて悩みなど言えない。心配をかけたくない。

○質問③に対する PT での主な意見

<信用できる人>

- ・友人
- ・近所のおじいちゃん、おばあちゃんなど、初対面の人や、自分の人間関係に影響しない人の方が話しやすい。(何も知らないからこそ話せる。)
- ・先生(毎年かわるので人による。)
- ・担任の先生は1年間いっしょだから話しやすい。(話しにくいこともある。)
- ・先生が、自分に成長してほしいと思っていることが分かれば話やすい。

<インターネットや AI を活用した相談>

- ・バーチャルアシスタント(自動応答アナウンス)のように、一本調子で話されるとこわい
- ・趣味の話などをするには良い。
- ・AI とのやり取りは、知識が増えるから良いが、怖い面もあると思う。
- ・インターネット上で、何でも相談室のようなものがある。例えば「友達関係で悩んでいる」と投稿すれば、同じことで悩んでいる人が集まってくる。ニックネームで投稿するので、名前がわからないのが良い。

<周りの目>

- ・相談の場は誰にも聞かれないようになっていても、誰かに見られる状態で相談の場に入ると、周囲の目が気になると思う。
- ・噂されたらイヤ。
- ・素の自分でいられないとつらい。
- ・男女の区別なく異性と話をしたくても、恋愛関係のように言われると話しにくい。
- ・グループによっては、人間関係が複雑な場合もある。
- ・特に人間関係に複雑さは感じないし、性別に関係なく遊んだり話したりする。
- ・相談すると、周りに広まって人間関係に影響しそうと思うとこわい。
- ・学校では異性と話しづらいが、習い事の場合なら話しやすい。

<その他>

- ・相談する前に、相談していいか考える。
- ・学校から相談カードが配られるが、その相談窓口には問い合わせづらい。
- ・相談先に、同じ学年の人など知っている人がいると安心する。
- ・学校のタブレットにアクセス制限がかけられていると相談できない。
- ・学校のタブレットは監視されていると思う。
- ・学校のタブレットは調べた履歴が見られる。

質問④

質問④では、こどもの意見表明について質問しました。

これからも生駒市では、みなさんの意見をたくさんききたいと考えています。

・どのような機会やものがあれば、あなたが思っていることを伝えやすいですか。

<「②アンケートの実施」結果の概要>

最も多かったのは、「アンケート調査」でした。その他には、「匿名で意見を投函できる目安箱」「パソコンや学校のタブレットを使った仕組み」といった回答がありました。

<「③アンケート結果を踏まえた対面での意見聴取」結果の概要>

「インターネットをつかった匿名のサービス(目安箱や、お互いに相談できるチャットのような仕組み)」に賛同する旨の意見があったのに対し、「学校から貸与されるタブレット端末は、学校側からみられているかもしれないと思い不安」「アクセス制限があり使いにくい」という意見もありました。

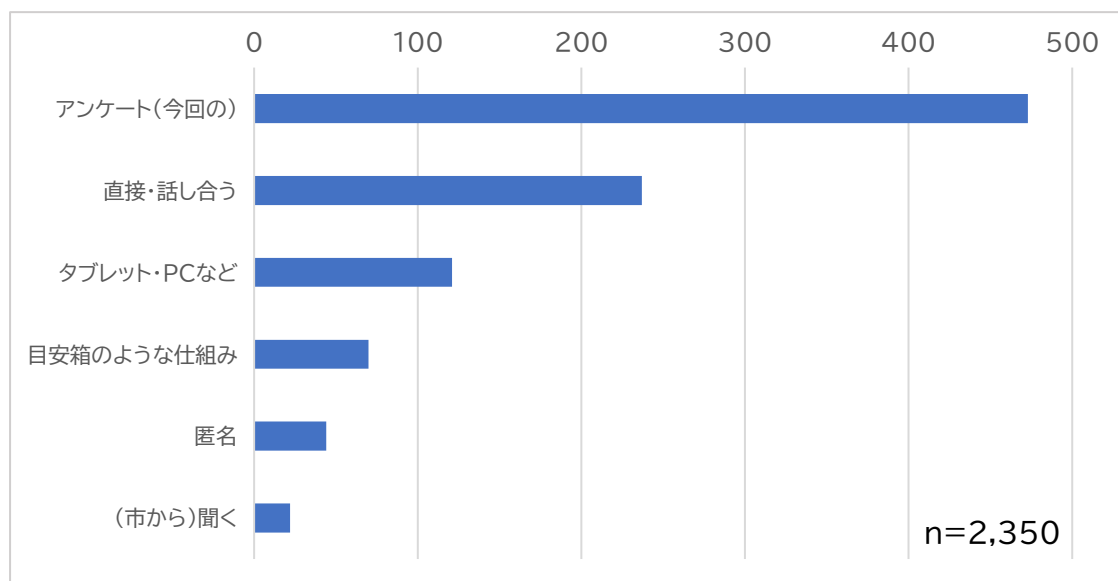
また、アンケート調査等については、質問内容などがわからなかったとき、聞く人がいないとわからないままであるため、その場に質問者がいた方が回答しやすい、という意見もありました。

★得られた知見

- ・意見表明してもらう仕組みとして、学校から貸与されるタブレット端末を使ったアンケート調査は有効な仕組みである。
- ・こどもが質問内容について理解できないことがあるなど、質問内容によっては大人が直接ヒアリングを行うことも有効である。

<質問④の資料>

○「どのような機会やものがあれば思っていることを伝えやすいですか」の質問で多かったキーワード



(代表的なキーワードと回答件数)

回答内容	全体	中学生	小学生	不明
合計	967	611	356	0
アンケート(今回の)	473	303	170	0
直接・話し合う	237	134	103	0
タブレット・PC など	121	71	50	0
目安箱のような仕組み	70	58	12	0
匿名	44	38	6	0
(市から)聞く	22	7	15	0

○質問④に対する PT での主な意見

<意見表明の方法>

- ・学校の全員が対象のアンケートは、自分の意見だけでなくみんなの意見としてまとまるため、安心感がある。また、みんながどう思っているのかも知れるのが良い。
- ・アンケートの質問内容(意味)が分からない場合、作った人がそばにいれば、すぐ答えが返ってくるから直接の方がいい。

<インターネットで意見をもらう仕組み>

- ・アンケートで質問をしている人が誰なのかが書いてあると、安心する。「生駒市」などであれば信頼できる。
- ・生駒市役所と書いていても、詐欺の可能性もあるから安心できない。
- ・アンケートが意見を言いやすい。
- ・学校で手紙を渡された相談先だと、同級生がくる可能性があるからイヤ。

4:さいごに

「こども版パブリックコメント」は、学校・教育委員会・保護者、そして何よりも、「こども版パブリックコメントプロジェクトチーム」として参加してくれたこどもたち、アンケートに協力してくれた生駒市のこどもたちの協力があって実現したものです。

アンケート回答は、担当者が責任をもって、全て読ませていただきました。新たな気づきを得られるものばかりで、とても勉強になりました。例えば、「ほしい場所」というテーマの質問でも、「ひとりになりたい」「みんなで遊びたい」「場合によってどちらの場所も必要」といった多様な回答があり、多くの学びがありました。

一方で、こどもの声であるアンケート回答を定量化された結果として分析することが難しく、プロジェクトチームのこどもたちに意見を聞かせてもらうこととしました。

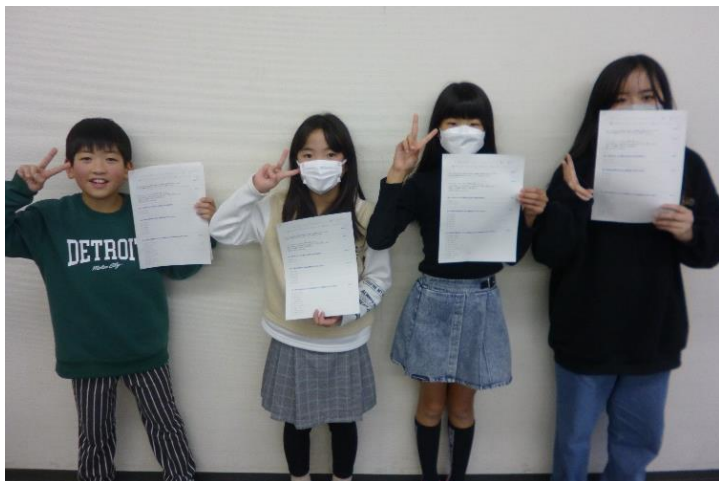
また、プロジェクトチームのこどもたちとアンケートの設問を作成したときには、「言い回しがまわりくどい」「そもそも長いと読まない」「生駒市側の事情の説明はこどもには関係ない(から設問文から外した方がよい)」といった貴重な意見をいただきました。動画作成のチームでは、こどもたちがシナリオを考え、みんなで協力して動画を撮影し、字幕を入れる作業までしていただきました。

「そんな見方があるのか」「そんなこともできるのか」と、気づきや驚きにあふれた機会となりました。

生駒市こども計画が策定され、令和 7 年度からは生駒市のこども達を中心としたさまざまな事業が始まります。今回得た知見をもとに、引き続きこども施策に取り組んでいきます。今回、関わっていただいた全ての皆さまに感謝の意を表明してこの報告の結びとします。ありがとうございました。

生駒市 子育て健康部 こども政策課

こども版パブリックコメントプロジェクトチームの皆さん(写真は第二回)



アンケートの設問作成チームの皆さん



動画の作成チームの皆さん

生駒市(いこまし)こども計画(けいかく)のこども版(ばん)パブリックコメント

いま、こどもたちがもっと ^{しあわ} 幸せになるために「生駒市こども計画」をつくっています。

こどもたちの意見がききたいので、ぜひ、アンケートに ^{きょうりょく} 協力してください。

◇ このアンケートには、みなさんが自分でお答えください。

◇ あなたの答えを、だれかに知られることはありません。 ^{あんしん} 安心して答えてください。

◇ 答えたくない質問は、答えなくても大丈夫です。

◇ 答えるのに 10分くらいかかります。

Q1. このアンケートに答(こた)えていただけますか。

- ☐ 答(こた)える
- ☐ 答(こた)えない

Q2. あなたの学年(がくねん)を教(おし)えてください。

- ☐ 中学 1 年生
- ☐ 小学 4 年生
- ☐ 中学 2 年生
- ☐ 小学 5 年生
- ☐ 中学 3 年生
- ☐ 小学 6 年生

Q3. あなたが通(かよ)っている学校(がっこう)を教(おし)えてください。

<小学4年生～6年生を選んだ場合>

- ☐ 生駒北(いこまきた)小学校
- ☐ 鹿ノ台(しかのだい)小学校
- ☐ 真弓(まゆみ)小学校
- ☐ あすか野(の)小学校
- ☐ 生駒台(いこまだい)小学校
- ☐ 俵口(たわらぐち)小学校
- ☐ 桜ヶ丘(さくらがおか)小学校
- ☐ 生駒(いこま) 小学校
- ☐ 生駒東(いこまひがし)小学校
- ☐ 生駒南(いこまみなみ)小学校
- ☐ 壱分(いちぶ)小学校
- ☐ 生駒南第二(いこまみなみだいに)小学校

<中学 1 年生～3 年生を選んだ場合>

- ☐ 生駒北(いこまきた)中学校
- ☐ 鹿ノ台(しかのだい)中学校
- ☐ 上(かみ)中学校
- ☐ 光明(こうみょう)中学校
- ☐ 生駒(いこま)中学校
- ☐ 緑ヶ丘(みどりがおか)中学校
- ☐ 生駒南(いこまみなみ)中学校
- ☐ 大瀬(おおぜ)中学校

質問①

家や学校、習いごとなどのほかに、自由に過ごせる場所をつくりたいと考えています。
どのような場所(ばしょ)がほしいですか。

どのように過(す)ごしたいですか。

質問②

学校以外で、みなさんと地域の大人とのかかわりを増やしていきたいと考えています。
地域(ちいき)の大人(おとな)とのかかわりがありますか。

○はい

○いいえ

地域(ちいき)の大人(おとな)とやってみたいことがあれば教(おし)えてください。

質問③

相談窓口をみなさんにわかりやすく案内したり、親や学校の先生のほかにも、相談できる大人を増やしていきたいと考えています。

どういう感(かん)じだったら、相談(そうだん)しやすいですか？

相談(そうだん)したくてもできなかったのは、どんなときですか？

相談(そうだん)について、ほかに何(なに)か思(おも)うことはありますか。

質問④

これからも生駒市では、みなさんの意見をたくさんききたいと考えています。

どのような機会(きかい)やものがあれば、あなたが思(おも)っていることを伝(つた)えやすいですか。